

新年度、就任のご挨拶

本日4月1日に日本郵政キャピタル株式会社の代表取締役社長に就任した足立 崇彰と申します。

これまでは、主に投資部門の責任者として、投資業務、ポートフォリオ管理を中心に経営を担っておりましたが、本日より、日本郵政キャピタル株式会社の代表取締役社長として経営を担っていきます。

日本のスタートアップエコシステムは、ここ数年で大きく成長、進化し、東京のみならず、関西、名古屋、福岡、さらに全国に広がりを見せています。また、最近では、海外のVCファンドも日本のスタートアップに出資すべく日本にアプローチしています。

そういった中で、日本郵政キャピタルは、スタートアップへの投資面では、シードからプレ IPO までオールステージに対応し、チケットサイズも数千万円から数十億円まで対応できることを特徴としたファンドを運営しています。投資エリアについても、日本だけでなく、シリコンバレーを中心としたグローバルに広がっています。

また、投資面だけでなく、日本郵政グループのリソース、アセットを活用して、スタートアップのバリューアップに貢献し、結果として、日本郵政グループも成長する、このようなスタートアップと大企業の連携も、弊社の大きな特徴になっています。

これまで約400億円/80社以上の出資を行っており、2024年3月には200億円のファンドを立ち上げました。今後、さらに活動を拡大し、スタートアップエコシステムに貢献するとともに、最終的には世界に貢献できるような存在になれるよう努めてまいります。

今後とも、日本郵政キャピタルと弊社メンバーをよろしくお願いいたします。



日本郵政キャピタル株式会社
代表取締役社長
足立 崇彰